



# 連携支援だより

毎日の気温の変化に戸惑いながら、秋を感じる間もなく師走に入りました。

今回は、11月に開催した特別支援教育総合センターとの共催の病弱専門研修会の様子と本校が行っている連携についてをお伝えしたいと思います。



## <第2回病弱虚弱教育専門研修会>



11月8日（金）に、本校研修室にて横浜市こども青年局担当課長 西部児童相談所医務担当係長 陶山寧子先生に「学校と福祉の連携～児童相談所精神科医師の立場から子どものSOSについて～」というテーマでご講演いただきました。その概要を少し紹介いたします。

○児童相談所の業務・・・本来は困っている人が相談できる所。初期介入とともに虐待の再発予防も求められる。再統合には、子どもと家族支援が大事である。

○子ども虐待に対する学校の役割は・・・

<b>通告の判断・通告</b>	疑わしきは見守りより通告	（子どもの外傷、食欲、表情の変化）
<b>通告後の保護者対応</b>	児相との事前打ち合わせ	（「虐待の疑い」を説明するより「子どもの安全を守るための通告義務」という考え方）
<b>継続的な見守り</b>	子どもの近くで日常を見ている。	（変化に敏感になる、疑念を放置しない）

○学校での初期対応

- ・ 学校長、専任教諭などへの報告・相談（福祉保健センターや児相に連絡。緊急性の高い場合は児相）
- ・ 情報収集と観察記録（身体的状況、言動、養育者の態度等、観察記録の作成、受傷部位の写真、発生年月日などの時間経過）
- ・ 職員間での情報共有
  - \* 虐待が疑われるときは、子どもと保護者は別々に話を聞く。
  - 子どもへの思いやりと共に保護者への思いやりも大切である。

○児童相談所で出会う子どもたち

発達障害、愛着障害、PTSD等は経過を見ないと判断が難しい。  
さまざまな子どもがいて、虐待を受けた子どもは十人十色の反応を起こす。

○教育は地域と子どもをつなぐ重要な役割

児童相談所で保護されている子どもたちは教育に飢えている。  
支配的な指導、あまりに管理的な指導は虐待の再演となってしまう。  
支援する大人同士が余裕のある存在であり続ける必要がある。対話を続けることが大切である。

児童相談所の動きを少し知ることができ、今後の連携の在り方や子どもたちへの対応について考える良い機会となりました。ちょっとしたおせっかい、「どうしたの？」の一言やブレイクタイムが子どもの見守りに一番大切！という言葉が印象的でした。

浦舟特別支援学校では、在籍中の児童生徒の様々な関係諸機関との連携を行っております。

## 《医療関係者とのカンファレンス》

入院中の児童生徒に関しては、その日の検査等の予定や体調について、毎朝病棟スタッフと確認をして授業を始めます。

また、週1回、または月に1、2回の定例のカンファレンスを医療関係者（医師や看護師）と行い、病棟行事の確認や児童生徒の学校での様子をお伝えしたり、配慮事項の確認など、情報共有をしながら進めていきます。

退院が近づくと、必要に応じて退院支援カンファレンスを行うことがあります。保護者、前籍校の先生方を交え、医師、看護師等の医療スタッフと学校生活における配慮事項を確認し、スムーズな復学に向けて準備をします。場合によっては地域のケースワーカーや児童相談所の方もその会議に参加されます。

安心して前籍校に戻れるように、そして安心して迎えていただけるよう、前籍校の先生方にも参加していただいております。



## ＜研修会のご案内＞



### 第3回 「病弱教育と人権について」

日時 令和2年1月24日（金）15：30～16：45

場所 横浜市立浦舟特別支援学校 研修室 （地下鉄阪東橋 徒歩5分）

#### テーマ 「病気療養中の子どもを支える活動と見えてくる子どもの心」

ご自身の長期療養の経験から、長期治療を必要とする子どものご家族を、スポーツを通して支援するNPO法人「Being ALIVE Japan」を立ち上げ、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、セラピューティック・リクルーシブスペシャリストという資格を取得され、様々な経験をされています。

今回の研修会が病気療養中の子ども達の人権について考え、今後の接し方への手がかりになればと思います。

講師 特定非営利活動法人 Being Alive Japan 理事長 北野華子 氏

## ＜教育相談のご案内＞



病気などが理由で、市内の病院に入院しているお子さんや、病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校からだけでなく保護者からの相談も受け付けていますので、是非ご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 Tel.243-2624

\*お手数ですが全職員にご回覧ください。